



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番
(公) 043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2000.12.22 No. 5243

活発な討議で団結固める 館山支部大会

12月15日、館山市「静海荘」に於いて、館山支部第23回定期大会と同乗務員分科会定期総会が開催された。

大会は石井智さんを議長に選出して開会。冒頭あいさつにたった笹生支部長は、「館山支部は本部方針にのっとり、一〇四七名の仲間たちの奪還、シニア制度反対の闘い、反合理化・運転保安確立闘争などを支部全体で闘いぬいてきた。明日からもより一層団結を強化して闘う組織体制を確立するために、今日は活発な議論をお願いしたい」と提起した。

その後、労働金庫、本部中野委員長から来賓のあいさつが行われ、執行部から方針案、予算案等の提案を受けた後、予定の時間をオーバーする活発な討議が行われ、満場一致で運動方針が採択された。

〈だされた主な質疑〉

- 構内・検修の全面外注化攻撃は、指揮命令系統の問題ひとつとっても危険極まりないものだと思う。資本主義社会では労使対立は避けて通れないことだ。ストライキをもって起ちあがってほしい。
- JR東労組内で革マルがさらわれてゴタゴタしているが、詳しい状況を知りたい。
- 組織拡大問題について、新規採用者は全員最初からJR総連という状況になっていること自体が違法行為ではないのか。
- 鴨川運輸区から東労組の組

合員の転入があり、他方鴨川運輸区には、組織対策で海宝が送り込まれてきた。労務政策があまりにも異常だ。

● 館山支部は毎年5月に執行部の改選をしているが、来年は長年支部長を務めてくれた笹生さんが定年を迎える。笹生さんの功績にどう応えているのか、新執行部をどうするのか、最も大きな課題で、支部のなかには笹生さんにもう一〜二年残ってもらいたいという意見もあり、全員で話し合っていかなければならない。

また支部大会終了後には、引き続き支部乗務員分科の定期総会が開催され、坂本会長は、



「支部分科会は、恒常的なストライキ体制を背景に、一切の不当労働行為根絶165歳まで働ける労働条件確立に向けて全力で闘いぬいてきた。未だ闘いの成果が全面的にあらわれているとは言えない状況のなかで、新たに検修職場を売り渡してしまっている。こんなことをすれば技術継承などは途絶えてしまうことになる。保守体制があつてはじめて安全は保てる。新しい時代に相応しい方針を確立しよう」と訴えた。

二〇〇〇年度役員

| | |
|------|--|
| 支部長 | 笹生 亘 |
| 副支部長 | 川上 孝夫 加藤 幸男 |
| 書記長 | 高橋 行雄 |
| 書記次長 | 近藤 伸二 |
| 委員 | 永井 守 座間 弘幸 広瀬 安男 和政 幸夫 神重 己夫 福原 克夫 鈴木 晴夫 宇佐見 悦男 堀海 弘二 坂本 好男 |
| 特 執 | 塩崎 昭広 高木 幸雄 加藤 博 花崎 薫 |
| 会計監査 | 石渡 裕基 堀江 秀明 |

乗務員分科新役員

| | |
|------|---|
| 会長 | 坂本 好男 |
| 副会長 | 庄田 和久 |
| 事務長 | 山田 繁幸 |
| 委員 | 梶江 真一 高橋 総彰 安西 正哉 加瀬 恒夫 都崎 恒夫 |
| 会計監査 | 鎌田 正則 佐藤 昭 |

1月7日14時

団結旗開き
に集まろう

二〇〇一年
動労千葉団結旗開き
▼一月七日(日)14時
▼DC会館大会議室
21世紀の幕開け!
全力結集を!

二〇〇一年
全支部活動者研修会
▼1月28(日)二時
〜29日(月)12時

2001年団結旗開きに集まろう